

研究分野	資源評価	部名	資源開発部
研究課題名	重要魚類モニタリング調査（底生魚魚類資源動向調査）		
予算区分	県単		
試験研究実施年度・研究期間	H19～H23		
担当	大水 理晴		
協力・分担関係	(独)東北区水産研究所八戸支所		

〈目的〉

本県周辺海域の重要水産資源である底魚類の分布状況や発生状況を継続的・定期的にモニタリングすることにより、精度の高い漁況予測と資源診断に必要な情報を収集、資源の安定的な確保に資する。

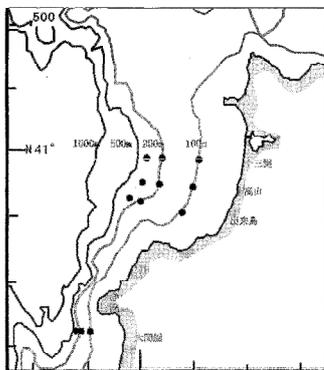
〈試験研究方法〉

日本海、津軽海峡及び太平洋海域において34ヶ所の調査点を設定し、青鵬丸（青森県水産総合研究センター試験船65トン1000PS）により、2007年4月～2008年1月にかけて網口約2mのオッタートロールを使用して引き網時間約30分の調査を実施した。特に太平洋での10月～11月は「ヤリイカ漁況予測」に、日本海での11月～翌年1月はハタハタ資源状況把握に用いた。

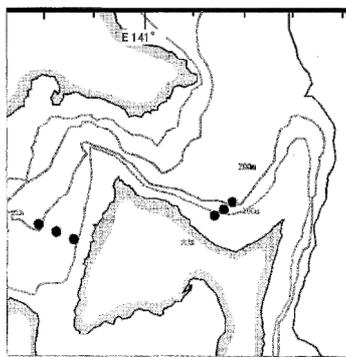
曳網面積は実測値に近づけるため0.01km²当たりの現存量とした。

○調査地点図

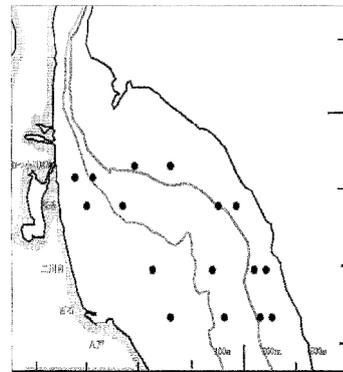
下図で右から日本海、津軽海峡、太平洋調査地点図



重要魚類資源モニタリング調査に係るオッタートロール調査地点図（日本海）
調査水深は浅い方より、十三間、高山、岩島、岩島沖100・300・500m



重要魚類資源モニタリング調査に係るオッタートロール調査地点図（津軽海峡）
調査水深は浅い方より、大船沖、佐井沖は100・150・200m



重要魚類資源モニタリング調査に係るオッタートロール調査地点図（太平洋）
調査水深は浅い方より、八戸沖、岩島沖、飯盛沖、むつ小川原沖沖線
70・100・200・300m

〈主要成果の具体的なデータ〉

○2007年度実施調査地点

オッタートロール調査・・・全64点

日本海・・・5月・11点、11月・14点、12月・1点、1月・5点 計31点

日本海：11月・1月、ハタハタ分布調査

津軽海峡・・・7月・7点、9月・8点 計15点

津軽海峡：9月・イカナゴ成魚分布調査

太平洋・・・7月・11点、10月・7点 計18点

太平洋：10月・ヤリイカ未成体分布調査

○ オッタートロール調査結果

表1 オッタートロール調査結果

太平洋				津軽海峡				日本海①				日本海②			
月	標準水深	目	種別	月	標準水深	目	種別	月	標準水深	目	種別	月	標準水深	目	種別
7	50	アンコウ	686	7	150	アンコウ	6800	5	50	アンコウ	8600	11	150	アンコウ	2048.27
		エイ	12100			エイ	15800			カサゴ	356.9			エイ	1000
		カサゴ	5045			カサゴ	4125			カサゴ	3728.84			カサゴ	14569.11
		カレイ	1222			カレイ	8838			サケ	563.6			カレイ	713.18
		コウイカ	52			サケ	12500			スズキ	20.3			コウイカ	236.66
		サケ	1987			スズキ	46			ツツイカ	242.6			サケ	3386.03
		ツツイカ	1078			ツツイカ	9869			ツノサメ	4200			スズキ	31988.06
		ツノサメ	97300			ツノサメ	14000			ニシン	27.2			ツツイカ	3631.19
		ニシン	27			ノユギリザメ	12500			ネコサメ	2200			ニシン	27.22
		フグ	1946			フグ	284			メジロザメ	22000			フグ	5815.88
		メジロザメ	18338			メジロザメ	14800			アズロ	41.6			メジロザメ	72023
		カサゴ	12022			ハシロ	3500			アンコウ	2101.6			メジロザメ	8200
		カレイ	410			アンコウ	5400			カサゴ	8783.2			カサゴ	10609.72
		コウイカ	104			エイ	2900			カレイ	6833.81			カレイ	31175
		サケ	97			カサゴ	201			コウイカ	24.8			コウイカ	39.92
		ツツイカ	5			カレイ	32378			サケ	5507			スズキ	112.08
		ツノサメ	2962			カレイ	73.34			タラ	4177.5			スズキ	6660.53
		メジロザメ	41000			スズキ	66			タラ	31.89			ツツイカ	4004.34
		カサゴ	3			タラ	64702			ツツイカ	14481			コウイカ	2.83
		カレイ	3476			ツツイカ	3700.56			ツノサメ	1652.9			ハシロ	18828.78
		コウイカ	13940			ノユギリザメ	5000			ネコサメ	0			カサゴ	5000
		サケ	549			メジロザメ	9800			フグ	332.8			カレイ	4018.97
		ツツイカ	318			ワトカギ	3			マトウダイ	739.8			カレイ	1880
		ツノサメ	5			ワトカギ	5			メジロザメ	4503.8			スズキ	8109.2
		スズキ	342			ハシロ	80			ワトカギ	3.7			タラ	13967.1
		タラ	130745			アンコウ	1400			口鰓	17.3			ツツイカ	1400
		ツツイカ	1864			カサゴ	2200			ハシロ	6000			ハシロ	2432.08
		ツノサメ	36000			ツツイカ	4500			アズロ	31.5			カサゴ	3000
		ツノサメ	369			ツノサメ	200			カサゴ	301.41			カサゴ	8207.69
		マトウダイ	77			メジロザメ	165000			カレイ	261.98			カレイ	2251.02
		メジロザメ	2400			ハシロ	784			コウイカ	33.6			スズキ	1821.77
		ハシロ	500			エイ	29000			スズキ	1230.503			タラ	24438.59
		カサゴ	333			カサゴ	500			タラ	40188.17			ツツイカ	500
		カレイ	15			スズキ	1568.1			ツツイカ	3317.7			ハシロ	2500
		コウイカ	6			タラ	19			ネコサメ	3000			(空白)	10000
		スズキ	5			ツツイカ	1770			メジロザメ	3000			アンコウ	12913
		タラ	236716			ツノサメ	27100			ハシロ	12590			カサゴ	52835
		ツツイカ	315			ノユギリザメ	9000			カサゴ	4112.8			カレイ	453.7
		ニシン	53			メジロザメ	46800			カレイ	2025.9			コウイカ	41.9
		メジロザメ	466			カレイ	200			スズキ	28.8			スズキ	345.5
		カサゴ	450			ツツイカ	4000			タラ	395.7			ツツイカ	1291.8
		カサゴ	1340.08			ツノサメ	5000			ツツイカ	18761.2			タラ	2652.8
		コウイカ	118.74			ツツイカ	30			ツツイカ	395.7			タラ	10000
		サケ	68.92			ツノサメ	1			十郎	2.6			フグ	301
		スズキ	130.8												
		タラ	1833												
		ツツイカ	5995.79												
		フグ	4600												
		マトウダイ	298.72												
		ハシロ	76.45												
		(空白)	2900												
		エイ	4500												
		カサゴ	798.04												
		カレイ	558.94												
		サケ	16.33												
		ツツイカ	8086.42												
		コウイカ	170.56												
		ヨロシウ	13.26												

○ ヤリイカ未成体分布調査結果（太平洋 10月）

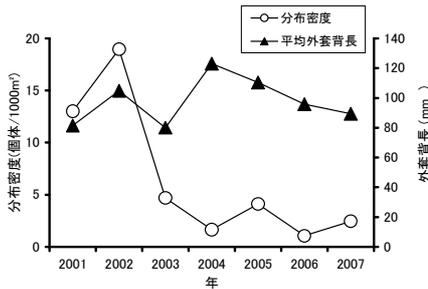


図1 ヤリイカ未成体の分布と外 mantle 背長の経年変化

○ ハタハタ分布調査結果（日本海 11月、12月、1月）

調査年月日	調査場所	水深(m)	ハタハタ個体数(尾)		
			オス	メス	合計
2007.11.7	つがる市出来島沖	106	0	0	0
		202	1	0	1
		280	88	23	111
2007.11.9	深浦町岩崎沖	120	0	0	0
		144	0	0	0
2007.11.14	つがる市高山沖	200	0	0	0
		287	44	7	51
合計			133	30	163

調査船舶：試験船青鵬丸、曳網時間：17~42分

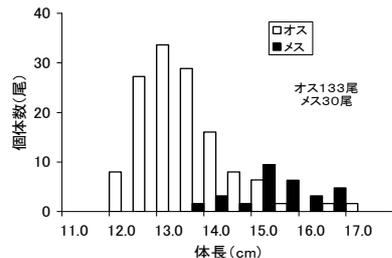


図2 採集されたハタハタの雌雄別体長

〈今後の問題点〉

(2007. 11. 7、11. 9、11. 14)

魚体の調査項目について検討する必要がある。

〈次年度の具体的計画〉

今年度と同様

〈結果の発表・活用状況等〉

平成19年度日本海漁業者協議会でハタハタ調査結果について発表。

平成19年度東北ブロック底魚研究連絡会議にてスケトウダラとマダラの結果を報告。

新深浦町漁協岩崎支所・鱈ヶ沢漁業協同組合でのヤリイカ・ハタハタ勉強会で発表。

日本海地区の漁業協同組合にヤリイカ分布調査結果、漁況予測を発表。

